

平成 27 年度第1回霧島市男女共同参画審議会会議要旨

開催日時	平成 27 年 10 月 29 日（木） 13：30～15：10		
開催場所	国分公民館 3階 大研修室		
出席委員	山口 剛、内野 和彦、櫻井 良、井上 嘉知子、日高 嘉子、新田 弘子 力石 久美、前田 優、網谷 章子、宮原 明信（計10人）		
事務局	堀切企画政策課長、安楽男女共同参画推進グループ長、海江田主査		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	1人
議事			
1 報告及び協議事項			
(1) 平成 26 年度男女共同参画に関する年次報告について			
(2) 平成 27 年度男女共同参画関連事業について（企画政策課分）			
審議結果等の概要			
1 報告及び協議事項			
<b>(1)平成 26 年度男女共同参画に関する年次報告について</b>			
事務局が資料に沿って説明。委員からの主な意見並びに事務局の回答は次のとおりである。			
委H28 年度で実施する「男女共同参画に関する市民意識調査」での設問項目には、男女共同参画計画で数値目標を設定してある項目については調査して欲しい。			
事前回はH23 年度に市民意識調査を行っているが、5 年後どういった数値になっているか、設問項目としていきたいと考えている。			
委附属機関等の委員に占める女性の割合については、H29 年度目標値が 40%である。年々微増はしているものの、まだまだ目標値には程遠い。どのように推進していくのか。			
事附属機関の所管課等から「附属機関等委員の選任に係る事前協議書」を企画性策課に提出してもらい、女性委員が 4 割に達していない場合はなぜ足りないかヒアリングを実施している。委員の更新を迎える前に、女性委員登用を依頼しているが、主管課の考えで依頼する機関が変えられない、その該当機関には男性しかいない」等の意見が出される。該当機関から女性の適任がいないと断られるケースもあり、女性委員登用について、事業所等にも理解を深めていただく取組が必要と考えている。			
委霧島市男女共同参画推進条例 19 条に防災の分野における男女共同参画の推進という条文がある。年次報告書の中では、避難所における女性職員配置数が記載されているだけでは、不十分である。東日本大震災の時には、避難所では授乳スペースがなくて困ったとか様々な苦情・要望が出ている。男女共同参画の視点で何が必要なことか、職員の理解を深めて欲しい。			
<b>(2)平成 27 年度男女共同参画関連事業について(企画政策課分)</b>			
事務局が資料に沿って説明。委員からの主な意見並びに事務局の回答は次のとおりである。			
委男女共同参画基礎講座は 30 名程度の参加で、そのうち男性が 5，6 名しかいないので、更に広報・周知を工夫していただきたい。			
事市広報誌、ホームページに載せ、チラシを作成し自治会文書の班回覧を行い、FMきりしまで紹介した。費用をあまりかけない方法で広報を行っているが、今後周知方法については検討したい。			
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>■資料 1 平成 26 年度男女共同参画に関する年次報告について</li> <li>■資料 2 平成 27 年度男女共同参画関連事業について（企画政策課分）</li> </ul>		